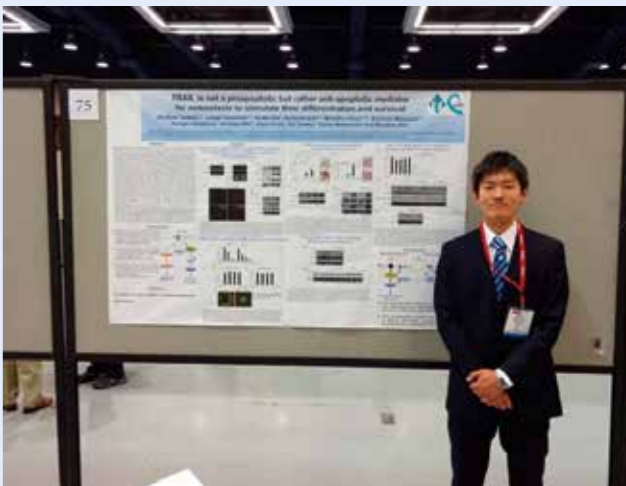


# アメリカへの短期留学で 得たもの

大学院口腔科学教育部博士課程 平成30年3月修了

天真 寛文 (てんしん ひろふみ)



アメリカ骨代謝学会でポスター発表をさせていただきました



念願の本場でのバス釣り



インディアナポリスのダウンタウン

私の所属する矯正歯科では大学院在籍中の短期留学を奨励しており、少し前になります。2015年9月から3ヶ月間アメリカ合衆国インディアナ州にあるインディアナ大学に留学する機会をいただきました。またこの留学にあたり、トビタテ！留学JAPANという奨学金制度を利用することができました。この奨学金は2014年に始動した文部科学省主導の官民共同の奨学金制度で、企業から寄附を募り学生の支援にあてることで日本人留学生の数を倍増させ日本の国際化を促進しようとするものです。渡航前後の研修も充実しており、大きな支えになりました。

現在私は血液・内分泌代謝内科  
学分野の研究室で、多発性骨髄腫という癌が骨を破壊するのをいかにして防ぐか、というテーマで研究を行っています。インディアナ大学では癌と骨病変の研究で高名な米田俊之先生のもと、破骨細胞分化における乳酸の役割というテーマで研究を行わせていただきました。当時大学院2年生ででもない知識が不足している上、慣れない環境でなかなかデータが出ない中、実験計画の立案方法、実験の手法、日本とアメリカの研究環境の違いなどを学ぶことができました。またシアトルで開催されたアメリカ骨代謝学会に参加させていただき、徳島大学での研究をポスター発表する機会も与えていただきました。

留学前の私は海外渡航の経験がほぼなく、英会話も全くできない状態でした。しかし3ヶ月の留学期間中にラボの内外で様々な人と出会い、特にインディアナ大学の国際課が留学生と在校生との交流を目的に毎週開催していた授業では友人もでき、英語での日常会話もなんとかできるようになりました。またせっかくアメリカに来たのだからと、同じトビタテ！留学JAPANの奨学生としてシカゴに留学していた友人を頼ってシカゴまでひとりで行って観光をしたり、ガイドを探して趣味のバス釣りを楽しんだりしたことも思い出です。英語力という能力的な成長といういろいろなことにチャレンジするという精神的な成長を得

られたことが大きな収穫だったと感じています。  
帰国後は海外へ行くことや英語を使うことへの抵抗感もなくなり、国際学会での発表を積極的に行い、オーストラリアの骨代謝学会で発表した際には優秀ポスター賞をいただくことができました。このようなことは留学前の自分ではとても想像できないことで、留学という機会を与えていただけたいと、そこで多くの人と出会えたこと、様々な経験をしたことは一生の財産です。3月で大学院は修了ですが、この留学で得たことを生かして卒業後も活躍できるように努力していきたいです。

## My Life in Tokushima

### 日本留学という旅の中で

大学院先端技術科学教育部 博士後期課程 3年

FARA ASHIKIN BINTI ALI

(ファラ アシキンビンティアリ) [マレーシア]



留学生  
滞在記



マレーシアでの国際学会参加時に橋爪教授(中央)と一緒に(筆者右端)



マレーシアの家庭料理とお島町会紹介(北流協会の国際交流協会のイベント)

で知識を求めよ」という意味ですが、実際には自分の国から離れてもっと遠いところで学ぶことを勧める言葉です。このようなことわざや両親からの励ましにより、「留学したい」という気持ちが心に刻まれました。

14年前に金沢大学に留学し、6年間石川県で過ごしました。一旦帰国して、5年後に徳島大学に入学しました。日本に留学してもう8年以上経ちます。この間にアジアの先進国である日本の社会やその変遷について学ぶ機会を得ました。また、心の優しい日本人との出会いや先生方からの厳しい指導などもありました。私は自分一人

で研究をすることが多く、辛く感じることもありましたが、先生方の熱心な指導や研究室のメンバーからの親切なアドバイスのおかげで、研究をすすめることができています。私を助けてくださるみなさんに、心から感謝しています。

話して、時々誤解も生まれます。でも、みんな同じ人間であり、国と言葉は違っていても心は通じるものです。私は国に関係なく、たくさんの友達を作りたいと思っています。これが国際ネットワーク

マレーシアから来たアラ・アシキンビンティアリです。現在、大学院先端技術科学教育部博士後期課程で学んでおり、橋爪・四柳研究室に所属しています。北島町にある国際交流会館で夫とかわい〜二人の娘と暮らしています。  
「留学」は幼い頃からの夢でした。マレーシアには「Tuntutuhan Ilmu Hinga Ke Negeri China」ということわざがあります。「中国

研究のほかに、国際センターや北島町などの国際交流協会のイベントに参加することも楽しみにしています。イベントに参加して、留学生だけではなく幅広い年齢層の日本人や外国人との交際ができ、とても楽しいです。日本語と英語で会

の始まりです。  
私は大学での研究と家族と過ごす時間のバランスを取ることがとても大事だと考えています。四季折々の自然がきれいな日本を家族と一緒に味わいたいのです。休日には家族と一緒に遊びに行ったり旅行したりしています。徳島にいる時間は残りわずかなので、マレーシアへ帰る前にたくさん良い思い出を作りたいと思っています。  
日本での留学生活は私の人生にとって貴重な財産になりました。それとともに、私が国際社会に向けて何をすべきかを自覚させてくれた期間でもあります。徳島大学で学んだことや日本での経験を生かして、マレーシアの大学でできることを精一杯していきたいと思っています。そして、いつか大好きなマレーシアに貢献できると信じています。



家族と一緒に神山森林公園イルローザの森での花見(筆者左端)